

廃油・生ごみ 資源化で海外へ

エバークリーン

東京・丸の内に本社移転

廃油のリサイクルな

どを手掛けるエバーク

リーン(東京・千代田、

加藤栄作社長、☎03

・6256・046

0)は今年度から東京

・丸の内に本社を移転

した。交通アクセスが

よい都心に本社を構え

ることで、海外からの

顧客などがオフィスに

訪れやすくなったとい

う。今後、海外での事

業展開を進めたい考え

で、加藤社長は「廃鉱

物油や生ごみリサイク

ルといった分野で東南

アジアなどへの進出を

目指す」としている。

東南アジア諸国で

は、自動車市場が拡大

しつつあるため、自動

車産業から排出される

廃油を中心とした資源

化事業の立ち上げに向

けて準備している。同

社では過去にも海外進

出を検討していたもの

の、2008年の原油

価格急落を受け、計画

を棚上げすることとな

った。最近では原油価格

が高値で安定している

ことから、海外プロシ

ェクトを再開した。生

ごみの処理についても

相談を受けている。

一方、国内ではハイ

ブリッド自動車や電気

自動車といった次世代

自動車の普及やカーシ

ェアリングなどのサー

ビスの浸透により、エ

ンジンオイルの排出量

が減少していくと見ら

れている。同社では新

たな事業の柱として水

質や土壌汚染の分析調

査や作業環境測定など

の計量証明を展開して

いる。そのほかLED

や錦鯉の販売などの新

規事業にも取り組んで

いる。同社は1973

年の設立。資源化事業

の拠点は千葉県野田

市、神奈川県平塚市、

岩手県北上市、滋賀県

竜王町に置く。